

普及項目	養殖
漁業種類等	貝類養殖
対象魚類	マガキ
対象海域	八代海

## 県南地区におけるマガキ養殖指導及び広域連携の取組み

県南広域本部水産課・野村 昌功

### 【背景・目的・目標（指標）】

八代海では、アサリ資源の減少、ノリ養殖の不振、漁船漁業における水揚量の減少等により漁業者の経営は厳しい状況にある。このような中、県南地区の5漁協（三角町、鏡町、芦北町、津奈木、水俣市）地先では、マガキ養殖に取り組んでいる。そこで、漁協及び生産者に対して、マガキの養殖管理に係る取組みを指導することにより、安定生産と漁家収益の向上を図ることを目的とした。今年度は、生産者間による意見交換の機会を設定するとともに、先進地視察により生産者の技術向上を目指して取り組んだ。

### 【普及の内容・特徴】

#### （1）成育調査及び養殖管理指導

令和5年（2023年）10～11月、5漁協の各地先の生産者によるマガキ成育調査が行われ、その現地指導を実施した。また、生残個数及び殻付重量から重量別組成を算出し、過去の結果と比較した資料としてまとめ、漁協及び生産者に情報提供した。（図1）

#### （2）意見交換会の開催

芦北町、津奈木、水俣市の3漁協のマガキ生産者と勉強会及び意見交換会を実施し、先進地の取組状況の紹介や課題、問題点等について意見交換を行った。

#### （3）先進地視察

関係機関と連携のうえ、芦北町、津奈木、水俣市の3漁協のマガキ生産者等とともに、天草地区のマガキ生産者の養殖場の視察を行い、現地において情報交換を行った。また、芦北町、津奈木町のマガキ生産者等と大分県のマガキ養殖場の視察を行った。（図2、3）

### 【成果・活用】

#### （1）成育調査及び養殖管理指導

昨年と比較して全体的に生産量が少なく型が小さい傾向であった旨の情報を提供し、今漁期の生産見通しの把握等に活用された。

#### （2）意見交換会の開催

勉強会並びに意見交換会を計3回実施し、養殖における課題の再確認を行うとともに、課題解決に向けた干潟養殖試験等の養殖技術開発について協議を行った。

#### （3）先進地視察

他地区の生産者と交流することで、横の連携の確立と併せて、地先で新たに取り入れ可能な養殖管理技術に係る情報に接することが出来た。

【達成度自己評価】 4 目標（指標）はほぼ達成できた（76～100%）

芦北町漁協養殖マガキの成育調査の概要

項目 調査日	ロープ本数	養殖水深	調査個数①	活貝個数②	死貝個数	②/①
R1.10.21	2	0.6 - 4.7	520	277	243	53%
R2.10.20	3	1.1 - 4.8	1,121	316	805	28%
R3.11.17	2	0.7 - 4.7	661	374	287	57%
R4.10.25	2	0.8 - 4.8	671	260	411	39%
R5.11.7	2	0.6 - 4.5	542	188	354	35%

サイズ 調査日	極小 (30g以下)	豆 (30-40g)	小 (40-50g)	並 (50-80g)	大 (80g以上)	合計推定 現存量
R1.10.21	1.2 6%	2.2 12%	3.8 20%	8.9 47%	2.8 15%	18.9
R2.10.20	0.5 9%	1.2 22%	1.5 28%	2.2 41%	0.0 0%	5.4
R3.11.17	0.5 3%	1.1 6%	2.5 13%	10.5 54%	5.0 26%	19.6
R4.10.25	2.8 51%	1.8 33%	0.7 13%	0.2 4%	0.0 0%	5.5
R5.11.7	1.1 20%	1.1 21%	1.7 32%	1.2 24%	0.2 3%	5.3

上段：推定残存量 (%)

下段：合計残存量に対する割合 (%)

概要

- 1 筏から垂下ロープ1本を採取し、合計2本の成育状況を調査
- 調査した全個数に対する活マガキの割合は35% (対前年比-4% 平均42%)
- 推定残存量は、5.3トン (対前年比-0.2%、平均10.9%)

11.5万個 (前年20.1万個)

※垂下ロープ数1,457本 (対前年比-76本) に換算したものの  
(参考) 漁期終了後の養殖マガキ水揚量R1:10.5%、R2:2.4%、R3:1.2%、R4:5%

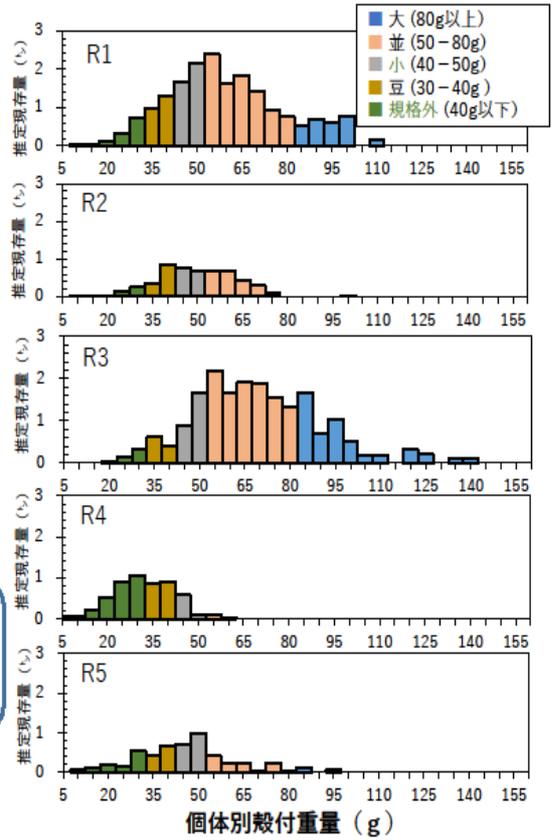


図1 マガキの成育調査の概要 (芦北町漁協)



図2 先進地視察の様子 (天草市)



図3 先進地視察の様子 (大分県)